《価格は〝高い〟けど目線がちょうどいい〝高さ〟になる》

55V型の大画面でも上下にテレビが自由に動く

電動昇降テレビスタンドってどう？

電動テレビスタンド

家電批評 BEST BUY 2023年5月号 電動テレビスタンド

ちょうどいい高さに調整できる！

2022年12月発売

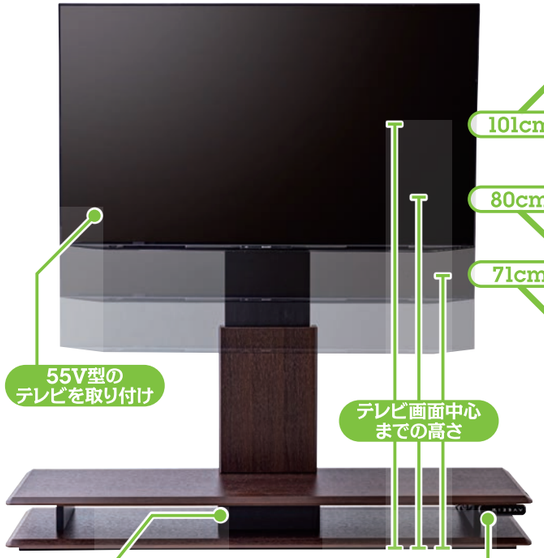
ヤマダセレクト e-RIZE YTS4975DKB1

実勢価格▶10万9780円

SPEC ●サイズ／W1500×D390×H931～1359mm・43.3kg ●耐荷重：40kg ●対応サイズ／49～75インチ

どんな姿勢でも自然に画面が見られるから疲れない

「立ってゲームで遊ぶ」「椅子に座ってテレビを見る」「床に寝ながらテレビを見る」という3つのシチュエーションを試してみたところ、テレビが上下することで顔をあまり動かさずに視線がテレビ画面をとらえられました。



テレビボード使用時ほど視線を下げる必要がないため、集中して全身運動ができました

リラックスできる姿勢だけに、顔の正面の高さに画面があると、長時間でも集中できます

テレビを下げれば、寝っ転がった際に目線を上げる量が減るため、首への負担を軽減できます

電源パーツはマウントの下部に収納できるため、パッと見は電動とはわかりません

上昇・下降はリモコンで操作。一度ボタンを押すと再度押すまで動き続けます。本体側には、高さが数値で表示。よく使用する高さを3つまで記録するメモリー機能もあります

デザインは悪くないけど部屋を選ぶかも

家具としてのデザイン性は、天板の角をななめに加工していたり、電源コードなどを目立たなくするようにしていて好印象。しかし、濃い色のモダンな雰囲気は、定番ではあるものの最近のトレンドではなく、部屋や他の家具との相性をよく考える必要があります。

組み立ては男性3人でもめちゃ大変でした

大きな梱包を見て不安だった組み立て。サポートに体力のある若手男性スタッフを2人招集しましたが、完成まで2時間近くかかりました。

パーツを取り出してまず困ったのが、ねじの多さ。解説書にはサイズしか書かれておらず、どこにどのねじを使うか解読するのにひと苦労。確認しながら組み立てます

大きく重いパーツが多く、なかなかの重労働。テレビと同時購入時のみ3300円(運搬費別)で組立サービスを利用できるので、DIYに慣れていないのなら頼んだ方が賢明かも

そもそも普通のテレビスタンドとどこが違うの？

ここは気になる

1 テレビスタンドとしてはかなりの重量

重量があるため組み立てや移動に不安が残ります

2 10万円超えはさすがに高くない？

テレビスタンドとしては破格の10万円越え。1～2万円で購入できるスタンドも多いなか、価格差を埋めるだけの機能があるのか気になります

ここがすごそう

1 環境に応じてテレビの高さを調整できる

リモコンの操作でテレビの高さを昇降できます。昇降幅は30cm。駆動部には実績のあるドイツのメーカー製品を採用

2 VESA規格※のテレビなら取り付け可能

テレビやモニターを壁かけするためのネジ穴位置の国際規格「VESA」に準拠しているため、多くの製品を取り付けられます

※テレビやモニター背面のネジ穴の位置の国際規格、市販の壁かけ金具やテレビスタンドもこの規格に基づいている

スペースをとるテレビ台に代わる設置手段がテレビスタンドです。しかし、購入時には設置場所に合わせて最適な高さを選ぶ必要がありました。そこで注目なのがヤマダデンキから発売されたオリジナルの電動昇降機能付きスタンドです。はたして、この機能って必要？ 大きさは？ 編集部で組み立てて検証しました。

今回の識者

大橋わかさん
収納インテリアアドバイザー、おうちデトックス代表
個人宅の整理収納サービスとインテリアコーディネートを同時に行うプロ集団の代表。年間約1000回以上のお片づけに悩む個人宅の整理収納サービス実績あり

組み立ては大変だけど使うだけの価値はあり！

テレビスタンドは、ベースが薄いためテレビ台のようにスペースを専有することがなく、部屋を広く使えるので人気を集めている製品。壁かけ金具のように壁を傷付けないのもメリットです。

そんなテレビスタンドに、電動昇降機能を付けた製品がヤマダデンキから発売されました。一般的なテレビスタンドは、設置場所や日頃の視聴姿勢に合わせてあらかじめ高さを選ぶ必要がありますが、昇降機能の有無によってどのような違いが出るのでしょうか。

結論からいうと、高さが固定されている製品に比べれば、どんな姿勢でも自然に画面に目を向けられるので快適です。電動なので55V型の大画面でもラクラク昇降。食事中は椅子に座って、食後はビーズクッションでくつろぎながらと、1日中テレビから離れることのない生活にはぴったりハマりました。

一方で気になったのは、ベースが大きくかなりスペースを取ることです。存在感があるのでデザインが部屋にマッチするかも重要でしょう。また、パーツの点数が多く重量もあるため、組み立ては思いのほか大変でした。購入時は有料の組み立てサービスの利用を検討することをおすすめします。

構成：山内薫平（編集部）検証・文：ハナゾノゴウ